

# 浦郷漁港周辺まちづくり計画

## ～ 漁村型海業の推進 ～

令和7年3月

浦郷漁港周辺まちづくり計画検討協議会



# 浦郷漁港周辺まちづくり計画

## ～ 漁村型海業の推進 ～

### 目 次

#### 本 編

1. 計画策定の目的	1
2. 計画策定の経緯	1
3. 浦郷漁港周辺まちづくり計画	3
4. 今後の取り組み	9



# 本 編



## 1. 計画策定の目的

浦郷漁港は昭和 27 年に整備が始まり、半島状に突き出た島根鼻を隔てて西側に由良地区、赤之江地区、東側には拠点である本港地区、浦の谷地区からなる県管理の第 4 種漁港である。

主な漁業はまき網漁業や養殖漁業が主体となって営まれ、他方では昔から西ノ島町の表玄関として隠岐汽船㈱のフェリーや高速船の発着等海上交通の要所として、また県外船の避難港として発達してきた。

さらには、平成 27 年に隠岐ユネスコ世界ジオパークに正式に認定され、代表的景勝地である国賀海岸を海上から眺望できる国賀観光船の発着基地でもあり、多くの観光客で賑わいを見せてきていた。

しかし、平成 19 年には、隠岐汽船㈱が浦郷漁港への発着を廃止し、令和 3 年には西ノ島町役場庁舎も地区外へ移転したこと、また新型コロナウイルス感染症によるインバウンドを含めた旅行者が激減したことで、当地区の衰退は歯止めがかからず旅館業やお土産業など多くの店舗が閉鎖に追い込まれている。

一方で、旧フェリー岸壁の耐震化工事も概ね終了に近づき、また新型コロナウイルス感染拡大も終息を迎えつつある状況の中、令和 5 年 5 月 19 日にドイツの会社が運航するクルーズ客船「ハンセアティック・ネイチャー」(1 万 5651 トン) が寄港し、久しぶりの賑わいが地区中を駆け巡ったが、この先の状況を危惧すると、県管理漁港ではあるが、有識者、島根県、流通業者、地区住民そして漁業者を一堂に会しての協議会を設立し、まちづくりを含めた今後の整備方針を検討していきたいと考えている。

また、地区の価値や魅力を活かした「海業<sup>\*</sup>」を推進し、水産物消費の増進や交流人口の拡大を図り、浦郷地区の活性化につながるものとする。

※海業(うみぎょう)とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業で、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるものをいう。

## 2. 計画策定の経緯

平成 15 年度に浦郷地区において、漁港を中心とした浦郷地区の活性化を図るために、「浦郷漁港周辺整備基本計画策定委員会(愛称:がんばろう浦郷の会)」を設置し、委員として、浦郷地区の住民 18 名の方を西ノ島町から委嘱した。

全 12 回の委員会では、浦郷地区の活性化について議論を重ねられ①自然・文化・交流面での観光業、②宿泊・レジャーとしての観光業、③食事・特産品としての観光業、④漁業、⑤農業・畜産業、⑥ノアの活用、⑦浦郷商店街、⑧生活環境、⑨住民主体の取り組み、以上 9 つのテーマによる提言を受け、「浦郷漁港周辺整備基本計画」として浦郷地区の将来構想が策定された。

これらのテーマのうち、浦郷地区にとって多様な産業への波及効果が高い「観光」を中心として議論が展開され、観光を主体にした整備による浦郷地区周辺の活性化を図るとされた。

その結果、平成 21~22 年に観光客の誘導を図るためのサインや島根鼻オートキャンプ場が都市再生整備計画(まちづくり交付金)により整備された。

その後、西ノ島町では平成 27 年と令和 5 年に空き家の実態調査を行った結果、隠岐汽船の浦郷漁港への発着廃止、浦郷小学校の閉校、役場庁舎の移転等もあり、浦郷地区から他地区への新築・転居も見られ、町内の空き家分布は浦郷地区が最多となっている現状である。

今回の計画は、これまで「がんばろう浦郷の会」で出された意見を基本としながら、改めて、現状や新たな課題、委員会やワークショップで出された意見等を踏まえて「浦郷漁港周辺まちづくり計画」をとりまとめ、地区の価値や魅力を活かした「海業」を推進し、水産物消費の推進や交流人口の拡大を図り、浦郷地区の活性化につなげるものとする。

# 浦郷漁港周辺まちづくり ～ これまでの経緯 ～

## 1. 「がんばろう浦郷の会」の発足と将来構想の策定

- 浦郷地区においては、漁港を中心とした浦郷地区の活性化を図るために、浦郷地区の住民18名の方を「浦郷漁港周辺整備基本計画策定委員会（愛称：がんばろう浦郷の会）」の委員として西ノ島町から委嘱された。
- 平成15年8月から平成16年3月までに12回の委員会を開催し、浦郷地区の活性化について議論を重ねられ、「がんばろう浦郷の会」から9つのテーマ\*による提言を受けて、「浦郷漁港周辺整備基本計画」として浦郷地区の将来構想が策定された。

※9つのテーマ：①観光業（自然・文化・交流） ②観光業（宿泊・レジャー）  
③観光業（食事・特産品） ④漁業 ⑤農業・畜産業 ⑥ノアの活用  
⑦浦郷商店街 ⑧生活環境 ⑨住民主体の取り組み



## 2. 浦郷漁港周辺整備基本計画の概要

- 「がんばろう浦郷の会」では、9つのテーマのうち、浦郷地区にとって多様な産業への波及効果が高い「観光」を中心として議論が展開された。
- 「浦郷漁港周辺整備基本計画」については、西ノ島町全体から、別府地区、浦郷地区の役割分担について、別府地区は本土との交通結節点として、浦郷地区は観光客の滞在拠点として位置づけて、観光を主体にした整備による浦郷地区周辺の活性化を図るとされた。
- 具体的には、平成21～22年に、観光客の誘導を図るためのサインや島根鼻キャンプ場が、都市再生整備計画（まちづくり交付金）により整備されている。

## 3. 空家の状況調査

- 西ノ島町では、平成27年と令和5年に空家の実態調査を実施している。
- 令和5年の空家は427戸で、平成27年から167戸増加している。
- 隠岐汽船の浦郷漁港への発着廃止、浦郷小学校の閉校、役場庁舎の移転等もあり、浦郷地区から地区外への新築・転居もみられ、町内の空家の分布は浦郷地区が最も多くなっている。
- 一方で、特に修理は必要ない空家も多く、早い時期に利活用できる可能性をもつ。



## 4. 浦郷漁港周辺まちづくり計画の策定

- 今回の計画は、これまでに「がんばろう浦郷の会」で出された意見を基本としながら、改めて現状や新たな課題、委員会やWSで出された意見等を踏まえて、「浦郷漁港周辺まちづくり計画」をとりまとめ、地区の価値や魅力を活かした「海業\*」を推進し、水産物消費の推進や交流人口の拡大を図り、浦郷地区の活性化につなげるものである。

※海業（うみぎょう）とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業で、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの。

## 3. 浦郷漁港周辺まちづくり計画

### 3-1. 産業

#### (1) 現状と課題

- 消費者ニーズの変化等による魚価の低迷、燃料高騰等に対応した水産物の高付加価値化、漁業経営の安定化
- 高付加価値商品の開発や新たな雇用創出に向けた企業支援、生産規模の拡大
- 漁業資源の適正管理
- 穏やかで魚種が豊富な浦郷漁港が活用されない（鮮魚が買えない）
- 商店（鮮魚、飲食）が減少
- 釣りに特化した浦郷港の活用

#### (2) 基本施策

##### 施策1 6次産業施設の整備

(本港地区)

- 飲食・水産物・加工品等を購入できる施設整備
- カキ小屋整備
- 食品自動販売機の設置
- 各種イベントの開催スペース整備
- 観光、ジオパーク拠点の整備
- 隠岐に生息する魚を展示した展示水槽によるミニ水族館の整備
- 見学・体験プログラム・ツアー整備による観光・学びの場の提供
- 来訪者用駐車場の整備

##### 施策2 泊地の活用

(本港地区)

- 釣り場の整備・畜養施設
- 釣り情報コーナー、釣具レンタル
- 浮き防波堤移設

##### 施策3 藻場の造成

(由良地区)

- 藻場の造成によるイカ寄せの浜の再生

## 3-2. 観光交流

### (1) 現状と課題

- 季節に応じた観光メニューの充実によるリピーター獲得
- 観光ニーズに対応した施設の整備や地元料理の提供による新たな顧客開拓
- 宿泊施設の減少
- 観光交流センターが雑然として居心地の良い場所でない
- 気軽に集まる場所、子供達の遊べる場所が減った
- 憩いくつろぐ場所（コミュニティ）がない
- 空き家が増加
- 全国で108カ所しかない一の宮である「由良比女神社」を活用することを検討すべき

### (2) 基本施策

#### 施策4 観光交流拠点の充実

(本港地区)

- 体験・交流の場として機能する観光交流センター
- 係留施設の整備
- 港ピアノ設置
- 屋形船の運航
- 海上タクシーによる観光地間の海上移動
- 人が集まる場、子供の遊び場、海の見える公園

#### 施策5 空家等遊休施設の利用の円滑化

(本港地区)

- 空き家をゲストハウスに改修
- 食泊分離による共同レストランの整備

#### 施策6 島根鼻キャンプ場の整備

(島根鼻地区)

- マリンスポーツの活用
- 天体望遠鏡の活用
- 景色が堪能できる喫茶店や野外キッチン

#### 施策7 釣りスペースの整備

(本港地区)

- 施設周辺を活かした釣りスペースの整備。魚の棲み処づくり
- 図書館のキッチン利用。釣った魚の調理・食事体験、公園でのイベント開催
- 低コスト、低環境負荷な海面養殖業の推進

#### 施策8 遊歩道の整備

(島根鼻地区)

- 遊歩道整備によるウォーキング促進
- 休憩施設整備

## 施策9 由良比女神社の活用

(由良地区)

- 由良比女神社周辺の自然散策区域化
- 季節の花を植える

### 3-3. 定住

#### (1) 現状と課題

- 定住者が増えて欲しい

#### (2) 基本施策

## 施策10 移住する人が働ける場所の確保

(本港地区)

- 情報発信基地、テレワークの場整備

### 3-4. 防災

#### (1) 現状と課題

- 巨大地震・津波被害に対して対策を講じていく必要（浦郷漁港 津波浸水想定：最大 3.0m）

#### (2) 基本施策

## 施策11 防災拠点の整備（JFの移転・建物更新）

(本港地区)

- 観光交流センター内の入居者見直し

### 3-5. 漁港施設

#### (1) 現状と課題

- 臨港道路の平面線形が短い区間で屈曲し、走行速度の急変を要し、走行安全や緊急時交通に懸念
- 荒天時、巻き網船は境港に避難
- 漁具（網）の保全作業の用地が不足

#### (2) 基本施策

## 施策12 臨港道路の改良

(本港地区)

- 平面線形の改良による交通流の円滑化、交通安全の向上
- 救急・消防等緊急車両の交通に対応した道路の確保

## 施策13 係留施設の拡充

(島根鼻地区)

- 係留施設の整備と、巻き網船の避難港としての利用
- 漁具（網）の保全作業のための用地の拡充

# 浦郷漁港周辺まちづくり～漁村型海業の推進～ 施策（案）

※赤字は浦郷区WSで出された主な意見  
※青赤字は決定される実行主体

区分	現状・課題等	施策（案）	実施地区	内容
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者ニーズの変化等による魚価の低迷、燃料高騰等に対応した水産物の高付加価値化、漁業経営の安定化</li> <li>高付加価値商品の開発や新たな雇用創出に向けた企業支援、生産規模の拡大</li> <li>漁業資源の適正管理</li> <li>穏やかに魚種が豊富な浦郷漁港が活用されない（鮮魚が買えない）</li> <li>商店（鮮魚、飲食）が減少</li> <li>釣りに特化した浦郷港の活用</li> </ul>	6次産業施設の整備	本港地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>海産物を買いたい店やバーベキューハウスやフードコート等飲食店、カキ小屋の整備による海産物提供（商工会）</li> <li>養殖力キの提供（カキ小屋）</li> <li>西ノ島町産牛の整備（焼き肉店）</li> <li>出店スペースの整備（スーパー・鮮魚店・加工品直売）（鮮魚店・商工会）</li> <li>西ノ島町で水揚げされた海産物の販売（朝市の開催）（鮮魚店）</li> <li>直売施設と連携した加工施設の整備と加工品の直売</li> <li>漁業（巻き網等）、加工製造、調理（刺身・干物等）等の見学・体験プログラム・ツアー整備による観光・学びの場の提供</li> <li>直売施設と連携した各種イベントの開催の提供（観光協会・浦郷区）</li> <li>豊岐に生息する魚を展示した展示水槽による三二水族館の整備</li> <li>来訪者用駐車場の整備</li> </ul>
		泊地の活用	本港地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>浮き防波堤の移設</li> <li>港内側背後水域を本格的な釣り場（釣った魚を食べられる施設で水揚げした活魚を食事））、畜養施設（ヨコフ・ブリ等）</li> <li>釣り情報コーナー、釣具レンタル、釣り花等の体験施設（観光事業者・観光協会）</li> </ul>
		漂場の造成	由良地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>漂場の造成によるイカ寄せの浜の再生（イカ・魚の来遊、産卵、生育の場の整備）</li> </ul>
		観光交流拠点の充実	本港地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験・交流の場として機能する観光交流センターの充実（土曜よるず朝市、土産物等物販、軽食、貝殻細工体験）（観光交流センター指定管理者）</li> <li>特産品等の販売所の充実、食品自動販売機の設置（日本海豊崎活魚倶楽部・小売事業者）</li> <li>マリナーレジャーの拠点となる係留施設の整備、レンタルボートによるクルージング・釣客の獲得（観光協会・観光事業者）</li> <li>定期観光船客、クルーズ客へのガイドダンス機能、地域の学校教育、社会教育を担うジオパーク拠点施設の整備（プロジェクトマネジメント等）（観光協会・豊崎観光・観光事業者）</li> <li>イベント施設を設置（観覧集客場所）（観光協会・浦郷区）</li> <li>港ピアノを置いて待ち時間を楽しく</li> <li>屋形船の運航による食事と絶景の提供（飲食事業者・観光事業者・観光協会）</li> <li>海上タワシーによる観光地間の海上移動（豊崎観光・渡船事業者・観光協会）</li> <li>人が集まる場（交流）、子供の遊び場</li> <li>海の見える公園（ベンチたくさん）</li> </ul>
観光交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に応じた観光メニューの充実によるリピーター獲得</li> <li>観光ニーズに対応した施設の整備や地元料理の提供による新たな顧客開拓</li> <li>宿泊施設の減少</li> <li>観光交流センターが雑然として居心地の良い場所でない</li> <li>気軽に集まる場所、子供達の遊べる場所が減った</li> <li>懇話会つづぐ場所（コミュニティ）がない</li> <li>空き家が増加</li> </ul>	空家等遊休施設の利用の円滑化	本港地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家をゲストハウスに改修（宿泊事業者・観光事業者・観光協会）</li> <li>食泊分離による共同レストランの整備（地域全体のホテル化）（商工会）</li> </ul>
		島根県キャンプ場の整備	島根地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁網漁を利用したマリンスポーツ（観光事業者・観光協会）</li> <li>天体望遠鏡の活用（観光協会・観光事業者・浦郷区）</li> <li>景色が堪能できる感家店や野外キッチン（商工会）</li> </ul>
		釣り堀の整備	浦の谷地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁礁（間伐材等）による魚の棲み処づくり</li> <li>施設周辺を活かした釣りスペースの整備（JF・西ノ島町全域集落・観光協会・観光事業者）</li> <li>図書館のキッズコーナーの利用による、釣った魚の調理・食事体験、公園でのイベントの開催（観光協会・観光事業者）</li> <li>低コスト、低環境負荷な海面養殖業の推進（JF・西ノ島町全域集落）</li> </ul>
		遊歩道の整備	島根地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道整備によるウォーキングの促進。（健康増進）（観光協会）</li> <li>休憩施設（ベンチ等）の整備</li> </ul>

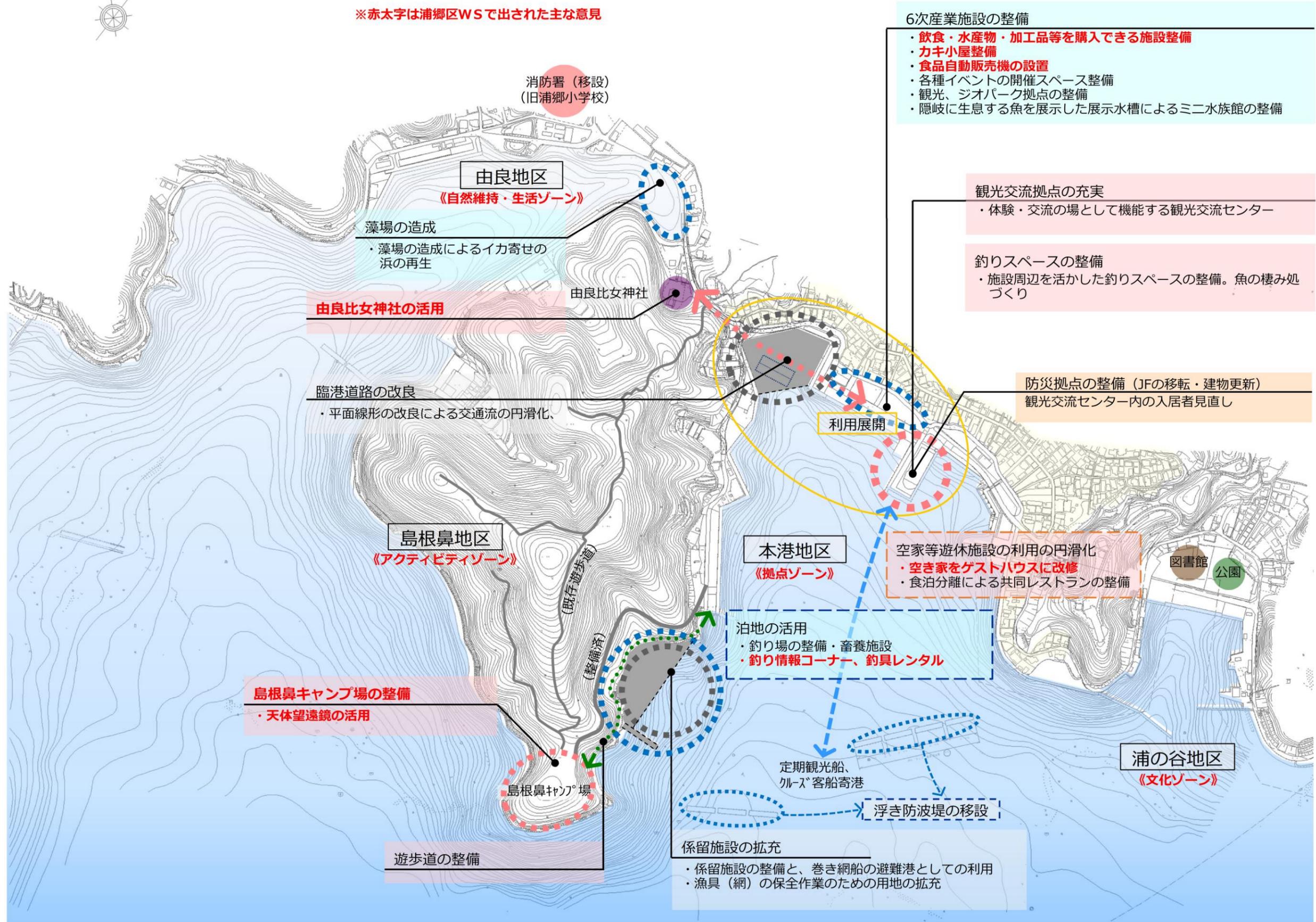
## 浦郷漁港周辺まちづくり～漁村型海業の推進～ 施策（案）

区分	現状・課題等	施策（案）	実施地区	内容
観光交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国で108カ所しかない一の宮である「由良比女神社」を活用することを検討すべき</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>由良比女神社の活用</b></p>	由良地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・由良比女神社周辺を自然散策区域（門前町づくり）【浦郷区】</li> <li>・季節の花を植えて10年先を楽しみに！【浦郷区】</li> </ul>
定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住者が増えて欲しい</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>移住する人が働ける場所の確保</b></p>	本港地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信基地、テレワークの場の整備</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巨大地震・津波被害に対して対策を講じていく必要（浦郷漁港・津波浸水想定：最大3.0m）</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>防災拠点の整備（JFの移転・建物更新）</b></p>	本港地区	<p style="text-align: center;">観光交流センター内の入居者見直し</p>
漁港施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨港道路の平面線形が短い区間で屈曲し、走行速度の高さを要し、走行の安全や緊急時の交通に懸念</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>臨港道路の改良</b></p>	本港地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面線形の改良による交通流の円滑化、交通安全の向上</li> <li>・救急・消防等緊急車両の交通に対応した道路の確保</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒天時、巻き網船は境港に避難</li> <li>・漁具（網）の保全作業の用地が不足</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>係留施設の拡充</b></p>	島根県地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係留施設の整備と、巻き網船の避難港としての利用</li> <li>・漁具（網）の保全作業のための用地の拡充</li> </ul>



# 浦郷漁港周辺まちづくり～漁村型海業の推進 ゾーニング（案）～

※赤太字は浦郷区WSで出された主な意見



## 4. 今後の取り組み

「浦郷漁港周辺まちづくり計画（漁村型海業の推進）」のプロセスを、「スタートアップ期」「準備期」「実行期」「自走期」と時期を分け、それぞれの期間において行う内容を流れ図で示す。

現在は「準備期」であり、「浦郷漁港周辺まちづくり計画検討協議会」において議論しているところである。その後、浦郷漁港周辺まちづくり（漁村型海業の推進）計画策定、漁港用地形質変更及び土地利用計画の変更、浜の活力再生プランの変更、国・県の支援策の検討、首長・議会・地元住民が一体となった国・県の要望活動の実施といった流れで進める予定である。

### 浦郷漁港周辺まちづくり（漁村型海業の推進）計画のプロセス（案）

